

製品安全データシート

1. 製品および会社情報

製品名：お茶ミスティ
会社名：株式会社プロテクト
住所：大阪府茨木市美穂ケ丘 8-1
インキュベーション棟 1213
電話番号：06-6155-8553
Fax 番号：06-6155-8530

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分外
	自然発火性液体	区分外
	自然発熱性化学品	区分外
	酸化性固体	区分外
	金属腐食性物質	分類できない
健康有害性	経口急性毒性	区分外
	経皮急性毒性	区分外

※ 上に記載のない危険有害性は、「分類対象外」または「分類できない」である。

3. 組成、成分情報

単一製品混合物の区別：混合物

化学名又は一般名：

物質名	化学式	化審法番号	CAS 番号	含有量
カテプロテクト (カテキン脂肪酸エステル)	非開示	-	-	非開示
DPG	C ₆ H ₁₄ O ₃	2-413	25265-71-8	非開示
グリチルリチン 酸ジカリウム	C ₄₂ H ₆₀ O ₁₆ ·K ₂	非開示	非開示	非開示
クエン酸塩	C ₆ H ₈ O ₇ ·Na	2-1318	77-92-9	非開示

本液を通常 100 倍～200 倍希釈し使用する。

4. 応急措置

- 皮膚に付着した場合 : 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
目に入った場合 : 直ちに流水で十分に洗い流す。
飲み込んだ場合 : 直ちに水又は食塩水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の処置を受ける。
多量に吸入した場合 : 不快な症状が生じた場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

5.火災時の措置

- 消火剤 : 粉末、泡、水噴霧、二酸化炭素
消化方法 : 本製剤は水を多量に含むため、引火性はない。
消化を行う者の保護 : 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6.漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 多量に人体に付着した場合、水でよく洗浄する。
封じ込め及び浄化の方法 : おがくずやティッシュ等で拭き取り、可燃ごみとして廃棄する。また多量の場合、環境への影響を配慮して廃棄する。

7.取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
技術的対策 : 取扱い後は手や顔などをよく洗う。
保管
適切な保管条件 : 容器を密栓して冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料 : 法令の定めるところに従う。

8.暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取り扱いの際には全体換気を行うことが望ましい
管理濃度 : 設定されていない。
保護具
呼吸器の保護具 : 防塵マスク、簡易防塵マスク等。
手の保護具 : 保護手袋
目の保護具 : 保護眼鏡。状況に応じ保護面。
皮膚及び身体の保護具 : 保護衣。状況に応じ保護長靴。

9.物理的及び科学的性質

- 物理的状態(20℃) : 液体
色 : 白橙色 ~ 茶褐色
臭い : なし
融点 : 130℃
沸点/沸騰範囲 : 情報なし

引火点 : 情報なし

10.安定性及び反応性

危険有害反応可能性 : 特別な反応性は報告されていない。

避けるべき条件 : 光、熱

危険有害な分解生成物 : 自己分解により有毒ガスを発生することはない

11.有害性情報

有効成分：カテキン脂肪酸エステルの安定性データを示す。

急性経口毒性 : マウス経口 LD₅₀ > 3,000 mg/kg、

急性経皮毒性 : ラット経皮 LD₅₀ > 2,000 mg/kg

(本情報は類似する化合物において確認したデータに基づく)

皮膚腐食性/刺激性 : ウサギ皮膚 470 mg/300 μL の被検物質を4時間塗布した場合、腐食性/刺激性を認めず

(本情報は類似する化合物において確認したデータに基づく)

眼粘膜刺激性 : ウサギ > 2000 mg/kg で被検物質による刺激性認めず

(本情報は類似する化合物において確認したデータに基づく)

変異原性試験 : 5,000 μg/plate においても変異原性なし

(本情報は類似する化合物において確認したデータに基づく)

皮膚感作性 : 一次感作として 202.5 mg/500 μL を塗布、二次感作として 67.5 mg/150 μL を塗布した場合、いずれも被検物質による感作性認めず

(本情報は類似する化合物において確認したデータに基づく)

12.環境影響情報

生態毒性

魚類 : 情報なし

残留性/分解性 : 情報なし

生体蓄積性 (BCF) : 情報なし

土壤中の移動性

オクタノール/水分配係数 : 情報なし

土壤吸着係数 (K_{oc}) : 情報なし

ハソリ-定数 (P_sM³/mol) : 情報なし

13.廃棄場の注意

適切な保護具を着用する。

地方条例や国内規制に従う。

焼却処理する場合には、可燃性溶剤に溶解または混合した後、アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。

空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後で行う。

処理施設が無いなどの理由で破棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国連分類 : 国連の分類基準に該当せず。

国連番号 : 該当なし。

輸送の特定の安全対策 : 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行い、法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法 : 該当なし

毒物及び劇物取締法 : 該当なし

労働安全衛生法 : 該当なし

16. その他の情報

[記載内容の取り扱い]

このMSDSは、記載時点での知見や資料を基に作成しておりますが、データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。ご使用に先立って、危険、有害性情報のみならず、ご使用になる機関、地域、国の最新の規制、条例、法規制などを調査し、それらを優先してください。

また、記載の注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特別な取り扱いをする場合は状況に適した安全対策を実施の上、十分な注意を払う必要があります。